

グリーンコープ組合員の皆さまへ

チェルノブイリ原発事故から **32** 年 汚染地域で暮らす被災者に支援の手を！

チェルノブイリ支援のための、年に一度の募金のお願いです。

注文番号 **008**

Aコース(3,000円/口)

注文番号 **009**

Bコース(5,000円/口)

**募金に
ご協力下さい**

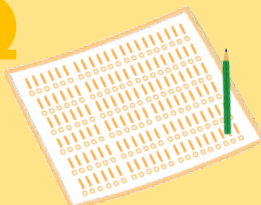
★うれしいプレゼント付き★
(詳しくは裏面へ)

1986年4月26日のチェルノブイリ原発事故から30年以上が経ちました。事故当時の子どもたちは母親・父親となり、目にみえない放射能の恐怖と闘いながら、我が子の健康や将来を案じながら生活しています。

被災者にとってチェルノブイリは過去の出来事ではなく、今日、明日、そして未来の世代へと続く問題です。どうかチェルノブイリのことを忘れないでください。決してまだ終わっていません。

♥ 募金方法はとっても簡単です。あなたの支援を待っています。 ♥

1



共同購入申込書の「008」または「009」の欄に口数を記入します。

2



お申込みいただいた募金がその他の商品代金と一緒に口座から引き落とされます。

3



NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワークを通じて、被災者支援活動に役立てられます。

※GCWeb登録の方は、ウェブでも注文できます。

グリーンコープでは毎年春に組合員にチェルノブイリ支援のための募金呼びかけを行っており、今年で23年目を迎えます。わたしたちの取り組みは、チェルノブイリ被災者の方々にとって大きな支えになっています。

あなたの募金が、チェルノブイリ被災者の笑顔につながります。



よろしく
お願いします

申込期間：4月16日～4月28日

5号もしくは6号の共同購入申込書（表面の左端）にご希望のコースの注文番号に口数をご記入ください。
GCWeb登録の方は、ウェブでも注文できます。

注文番号 008 | Aコース(3,000円/口)

注文番号 009 | Bコース(5,000円/口)

※お申込み頂いた支援募金はご注文商品と同じ口座からの自動引落としとなります。

チェルノブイリ、そして福島への支援を

東日本大震災後の原発事故による被災者支援も行われています。

島根大学の野宗義博医師らによる福島や関東地域での甲状腺検査をサポートし、現地の様子を伝えています（チェルノブイリ通信 No.107～109）。震災から7年が経ちますが、目にみえない放射能の影響は、まだよくわかっていません。子どもたちの健康に不安を抱える方々は福島に限らず、関東など他地域にもたくさんいらっしゃいます。検査での医師からの「大丈夫ですよ」という一言が、子どもを持つ親たちの安心につながっています。

医師を育てる

わたしたちの支援募金は
このように役立てられます

患者を救う

チェルノブイリ医療支援ネットワーク（CMN）を通じて、原発事故の被災地域での医療活動（専門家の旅費や医療機材の購入費）などにあてられます。CMNは、汚染地域に指定されているベラルーシ共和国ブレスト州で1997年より現地スタッフとともに甲状腺検査に取り組んでいます。ベラルーシでは今なお甲状腺の病気が見つかっています。特に事故当子どもだった世代である成人罹患率が高く、放射能による晩発的な影響を否定できないため、今後も長期的な検査が必要です。

患者の不安を
取り除く

支援募金にご協力いただいたあなたへ…

ベラルーシからの
手づくりプレゼントをお届けします！

支援募金にお申込みいただいた方には、もれなくチェルノブイリ原発事故被災者や障がいのある方々が働く福祉作業所「のぞみ21」で作られた、木工品や亜麻（リネン）製品が届きます。



のぞみ21スタッフのみなさん

※内容はおまかせください。スタッフの体調を考慮し、各々のペースで作製しています。お届けは早くも9月の予定です。

チェルノブイリ医療支援ネットワークより
ニュースレターを年4回お届けします！

プレゼントがご不要の方、ニュースレターがご不要の方は、お手数ですが、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ

チェルノブイリ医療支援ネットワーク

TEL/FAX: 092-260-3989

E-mail: jimmu@cher9.org

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-11-5F

2018年4月 グリーンコープ共同体